

●●はぐくむ●●

アルミニウムってすごい！
The aluminum is wonderful!

山本 ひとみ*

Hitomi YAMAMOTO*

平成28年8月12日(金)、静岡県裾野市にある三菱アルミニウム(株)富士製作所では、隣接する三島市の少年少女発明クラブに所属する小学生を招き、アルミニウムの工作授業や工場見学を通じて、アルミニウムという金属について、また、三菱アルミニウムという会社について知ってもらおうイベントを開催しました。

参加者は小学校4～6年生40名と指導員および市職員9名の合計49名で、社員食堂で昼食をとってもらったところからスタートしました。1番人気はやはりカレーライスで、そのほかそばなどそれぞれ好きなものを選んで食べてもらいましたが、社員食堂で大勢の子供たちがわいわいご飯を食べるとい、見慣れない光景が印象的でした。

その後、工作授業というスケジュールで軽金属学会事務局に貸いただいた、アルミニウムとほかの金属の重さを比較するサンプルや、当社の製品である熱交換器、アルミニウム缶のサンプルなどを展示した研修室で私たち事務局は子供たちを待ち構えていました。昼食を食べ終えた子供たちが部屋に入ってくると、展示サンプルに興味津々で触ってみたり持ち上げてみたり、「これはなに?」「なんでこんな形なの?」と質問が飛び交ったりと、授業開始前から大盛り上がりでした。授業がスタートして、最初にアルミニウムについての説明を始めると、真剣に話を聞きながらも、時折アルミニウムの軽さなどの性質に、「すごい!」と歓声があがっていました。次にアルミニウム箔を使った電池を作る実験を行いました。上手く電気が流れず、失敗に終わってしまった班もありましたが、ほとんどの子が電池を作るのは初めてで、みんな実験を楽しんでいる様子でした。その後は、アルミニウム、紙、発泡スチロールのそれぞれの容器で氷の解けるスピードを競うという実験を行いました。実験スタート前にどれが1番早いか子供たちに予想してもらったところ、ほとんどの子供がアルミニウムが1番早いと予想しました。結果は子供たちの予想通りで、「やっぱり!」と得意げでした。工作授業の最後に、缶ボディ材を使ってペン立てを作ってもらいました。子供たちはマジックやシールを使って思い思いに自分だけのオリジナルのペン立てを作っていました。人気キャラクターやお花の絵などを書いている子がいる一方、三菱マークを書いている子が何人もいたことにとっても驚きました。

工作授業後は、当社の事業や製品について学んでいただき、アルミニウム製品について理解したところで、工場見学に出発しました。富士製作所は鋳造、圧延、押出の全工程を



図1 子供たちと指導員の皆さん

有する工場ということもあり、全体では東京ドームおよそ5個分の敷地面積があります。そのため、工場全体を見学することは難しいことから、今回は箔圧延工程を見学しました。

箔工場まで徒歩移動する間、好奇心旺盛な小学生は様々なものに興味・関心を示します。特に、社内の挨拶が「ご安全に!」であることに大変興味を持ったようで、すれ違う社員やお客様に大きな声で「ご安全に!」と挨拶している様子は実に微笑ましく、また、心温まりました。

圧延工場の建屋内では、天井クレーンやフォークリフトで運ばれる大きなアルミニウムコイルに圧倒されたようで、「すごく大きなアルミホイルだ!」という歓声が上がっていました。また、当初は「圧延」という単語に「?」だった子供たちも、箔の圧延シーンを実際に間近で見ること、言葉の意味をつかめたようでした。さらに、ダブリング工程も見学しましたので、家庭用アルミホイルの片面が艶消し面となっている理由もよく理解できたようです。最後の質疑応答コーナーでは、三菱というグループに関する質問(三菱鉛筆は同じグループなのか)や、当社に関すること(設立の経緯や直近の業績、さらには社員の給与まで…)、アルミホイルを丸めると固くなる理由など、驚くような質問もたくさん出て、時間が足りないくらいでした。

当社でのこのような取り組みは久々であり、多少予定通りにはいかない場面もありましたが、子供たちの夏休みの思い出のひとつになっていれればと思います。また、これを機にアルミニウムに少しでも興味を持ってもらえればなによりです。

最後にサンプルや実験器具を貸いただいた軽金属学会に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。